

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4 年	2	必修
担当教員			
小板橋 信二			

授業のねらい（概要）	議論・発表を行いながら研究対象を絞り込み、詳細な研究テーマ及び研究の進め方を決定することを目的とする。 地域金融、業界、企業といったキーワードから各自が関心のあるテーマを設定し、3 年次ゼミで身に付けた知識・分析手法に基づき、情報の収集・整理・分析を行う。同時に、論文として纏めるための基本ルールを学びつつ計画的に作成が進むよう指導していく。 何を伝えたいかを明確にし、ゼミ生間で議論を重ねながら問題の本質まで掘り下げて解決策を導き出す力を養成する。
授業計画	第 1 回、第 2 回、第 3 回、第 4 回は【遠隔】 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 卒論と就活との両立、年間スケジュール 第 3 回 テーマ決定のための情報収集・整理 第 4 回 論文作成の基本ルール 第 6 回、第 12 回、第 13 回は【課題】 第 6 回 業界事情、企業研究、働くことの意義 第 12 回 卒論テーマの仮説とスキームの設定① 第 13 回 卒論テーマの仮説とスキームの設定② 1. 卒業論文テーマの確定 ①論文の執筆のための知識・基本ルールの習得 ②テーマ決定のための情報収集・整理 ③テーマ設定、スキームの立案 （スケジュールリング、目的・方法・仮説・方向性の決定） ④資料収集・先行事例・留意点などの個別指導 ⑤進捗状況に応じた検討会（数回）とディスカッション 2. 就職活動の支援、アドバイス ①就活に向けた自己分析 ②業界・企業動向、職種、処遇等の情報収集 ③業界事情、企業風土、働き方等の指導・助言 ④模擬面接の実施 予習（時間）：各自が進捗状況を把握し、テーマ確定での不足情報・疑問点を纏め、担当教員及び他ゼミ生に相談したい事項を持って参加する。（120） 復習（時間）：毎回の指導や意見の内容を整理し、その後のプレゼンやシナリオ作成に反映させる。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 【身に付くスキル】 課題解決力・創造的思考力
到達目標	①問題を定義し仮説を立て、情報を収集・整理したうえで分析・検証することができる。 ②意見・主張を資料に基づきプレゼンし、聞き手の反論に対しても説明ができる。 ③論理的思考力を身に付け、自ら解決策を導き出すことができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	疑問点や注意事項、進捗管理等は授業内で都度指導を行う。
履修上の注意	①卒業論文作成と就職活動を両立するために、計画を立て自己管理を十分に行うこと。 ②研究は自身一人の力だけでは進むものではない。自分のテーマだけではなく、他ゼミ生の研究テーマにも関心を持ち、活発な議論と意見を出し合うこと。 ③止むを得ず欠席する場合は必ず事前連絡すること。
成績評価の方法・基準	①報告レポート・プレゼン70% ②学修意欲30%
教科書	書名：最新版大学生のためのレポート・論文術 著者：小笠原喜康 出版社：講談社現代新書 価格：800円（税別）
参考書・教材	書名：経済金融トレンドに強くなる（第2版） 著者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査部 出版社：きんざい 価格：1600円（税別）
備考	第 6 回、第 12 回、第 13 回を課題研究として学修する。 第 6 回 自身が描く業界・企業の特徴・課題等を調査研究を行う。作業指示は第 5 回の対面授業及びmellyなどで行い、ホームページ等で情報収集しレポートは同じくmellyなどで提出する。 全体で330分の学修を想定している。 第12回、第13回 卒論テーマ選択の経緯、研究目的、仮説設置、シナリオ等をパワーポイントで作成する。 資料・情報提供やアドバイスは個別指導し、作業指示はmellyなどで行い、成果物の提出も同じくmellyなどで行う。共に全体で330分の学修を想定している。

教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）
----------	------------------